

新型コロナウイルス感染症軽症者等の 宿泊療養施設に関する住民説明会

<質疑応答概要>

- 日 時：令和2年4月18日（土）午後7時～午後8時50分
- 場 所：HOTEL KOYO（ホテルコーヨー）2階 レストラン情熱
- 参加者：47名（施設周辺にお住まいの方、周辺自治会役員の方など）

Q 1：自衛隊にも指導していただいたということで安心しているが、火災や大地震が起きた場合の対応はどのようなのか。

A 1：火災等で館外に避難しなければならない場合を想定し、入所者にはリストバンドをつけていただきます。避難の際に、どの人が入所者なのか、個々の状況を把握して、別の場所に避難させることを想定しています。

地域住民の避難場所として支障とならないようなオペレーションをしてまいります。

Q 2：施設運用について一番説明が必要なのは「向こう三軒両隣」といった周辺住民である。今日は体調が悪くて出席出来ない人もいると思うが、どのようなのか。

A 2：近隣の方々にしっかり説明することが必要と考えています。本日配布しました 1 枚もののチラシは、周辺の皆様がお知りになりたいと思われる項目をまとめたものですので、今後、皆様に回覧等でお使いいただければと準備いたしました。

このチラシには、私どもの連絡先も掲載しており、本日の説明会で全て終わりではなく、ご不明な点があればいつでもお問い合わせに対応させていただく体制としています。

Q3：この説明会は、このホテルを後方施設として利用することありきなのか。こういう施設は必要だと思うし、自分も入らなければいけないかもしれない。だとしても、実施ありきの説明会というのなら順番がおかしいのではないか。

A 3：実施ありきというものではありません。早期に取り組みたいという思いで説明させていただいておりますが、住民の皆様にご安心いただくための説明会として、本日設定させていただいたものですので、ご理解いただきたいと思います。

Q4：入所の際の入口は、なぜ正面でなく東裏口なのか。こそこそやっている印象を受ける。正面の方が広さ的にも問題ないし、

東裏口は民家に近いため、周辺住民が感染することがないか、大変心配である。全国状況をみると、どれだけ対策をしても感染の心配はある。入所のルートは考え直してもらいたい。

A4：入口については、隠れて入所するという考えではなく、ゾーン分けの観点から、このように設定したところです。

入所の際には東側から侵入し、車両から降りて、まっすぐ入口に向かう形としています。

Q5：入所ルートは何とか変えてもらいたい。レッドゾーンということは危険ということ。その周辺に家があるのは危険ということではないか。

A5：感染については、専門家からご助言を受ける中で、触ったり、飛沫が飛んだりすることがなければ感染の恐れはないと考えています。

入所に際しては、保健所の職員も帯同しており、当然マスクも着用しているのでご安心いただければと思います。

(入口の)業務用エレベーターは、入所時に利用いただくため、レッドゾーンとさせていただいていますが、入口につながる屋外の通路は、感染の恐れはないと専門家からも伺っています。

Q6：裏口からはいつも従業員や業者が出入りしており、それだけ出入りがあれば感染の可能性もあるのではないか。入所の際の入り口を正面にできないのか。マスクも十分に買えない中、大変心配なところである。

A6：ゾーニングにおいて、入所者と従業員等を別の動線とするため、今後、従業員の出入口は別の場所としています。

ゾーニングに関しては、自衛隊や感染症の専門家からのご助言のもと、このような設定となったことを御理解いただければと思います。

Q 7 : ホテル東側の市道は駐車禁止にしてほしい。これまでもホテルの資材搬入や業者の車が駐車しており、通行に支障が出ている。

A 7 : ご意見として承りますが、お示ししている入所ルートでは東側の市道から敷地内に入って停車し、入所者に降りていただくものです。

ゴミ回収業者の車両停車時などは警備員によって整理していきたいと考えています。

Q 8 : 入所者の容体が急変した場合は病院搬送になると思うが、その際のゾーニングはどうなるのか。緊急搬送の際には慌てることもあると思うが、マニュアルどおりにできるのか。

A 8 : 入所者は、一定期間入院された方ですので、容体の急変は考えにくいところですが、別の病気等で救急搬送になることも想定はしています。

その場合、業務用エレベーターにストレッチャーを入れることは無理なので、例外としてグリーンゾーンである中央エレベーターを使用することとしています。その後、十分に消毒を行い、再度ゾーニングに従った運用をしてまいります。

Q 9 : ゾーニングについて、入所者と関わることをゼロにはできないと思うが、関わった場合の対策は。ダイヤモンド・プリンセス号のようなことになってしまうのではないか。

A 9 : 今回のゾーニング設定については、未だ一人も感染者を出していないという経験をもとに、自衛隊の方にも熱心にご指導をいただいています。

このゾーニングでしっかり運用すれば、問題ないとお言葉をいただいたところです。

Q 10 : 緊急時に中央エレベーターの使用を想定しているのであれ

ば、入所口を正面とするよう、再検討されてはどうか。

A10：中央エレベーターを入所時に使うことになれば、構造上、フロントやロビーもレッドゾーンとなってしまいます。

専門家や自衛隊のご指導のもと、館内全体の安全かつ効率的運用を考え、入所者が中央エレベーターを使用することは適切でないと判断しました。

Q11：退所される方についての基準は。

専門：退院基準と同じく、PCR検査で2回連続の陰性が出れば退所となります。

病院を退院された方でも、しばらくは健康観察をすることになりますが、そこから陽性となった方は0%ではありません。しかしながら、クルーズ船の事例も含め、再度陽性になった方が周りに感染させた事例はなかったと思います。

PCR検査で2回連続の陰性が出るということは、かなり感染力が弱くなっているといえます。実際、病院から退院される時には公共交通機関を利用しても良いこととしています。

Q12：現場責任者と総括班は県職員ということだが、従事する人は決まっているのか。問い合わせ窓口はどこになるのか。

A12：県職員は交替制としており、総括責任者はいわゆる係長級以上の者を配置し、加えて総括班に2名の職員を配置します。

24時間3交替制で、ホテル2階に事務室をお借りして常駐します。全体管理は県庁の本部で仕切りますが、ホテルでも現地事務局という形で様々なご意見に対応したいと考えています。運営開始の際には皆様に窓口をお示しいたします。

Q13：看護師の体制はどのような形か。また医師はオンコール対応

とあるが、普段の仕事もある中でどのように対応されるのか。

A13：看護師は2名常駐で、24時間2交替制としています。医師については県医師会に当番制を組んでいただき、24時間体制で電話対応いただくこととしています。

Q14：従事スタッフが感染して施設内でクラスターが発生しないかと心配している。そうすると地域住民にも感染が広がる恐れがあるわけだが、対策はあるのか。

A14：従事スタッフは、控室を利用する時間や食事のタイミングをその他のスタッフとずらすなど、一般的に提唱されている予防策を講じてまいります。

万が一、従事スタッフに感染者が出た場合には、作業を一緒に行った者は濃厚接触者として自宅待機となり、代わりに別のスタッフが業務にあたることとなります。

Q15：報道によればウイルスは3時間は空気中に滞在するといっていた。空気感染についてどう考えているのか。

専門家：入所口を特に心配されていると思いますが、屋外であり、飛沫が何メートルも飛んで近隣の住宅に影響を及ぼすことはありません。

部屋の中など締め切った場所では飛沫がその場にとどまることはありますが、換気して空気が流れがあれば、そういったことは起きません。このホテルの窓から近隣の住宅にウイルスが飛んでいくこともありません。

現に病院では一般病棟に患者さんが入っていますが、上の病床から空気を介して下の病床の人に感染することはありません。

Q16：空気感染が心配ないと言われるのであれば、なぜ入口を裏口にする必要があるのか。問題ないのであれば正面から入ってもよいのではないか。

専門家：正面から入ることとなると、ホテルへの届け物の受付などを行うロビーもレッドゾーンとなり、クルーズ船で起きた、レッドゾーンとグリーンゾーンの区分けが出来ない状況が起きうるといことです。

ゾーニングを厳格にするためには、裏口から入っていただくのが感染対策上安全というのが専門家としての意見です。もちろん検討しないということではありませんが、これまでも十分検討した上でこの形になっていることを御理解いただければと思います。

Q17：我々が納得できるよう入所ルートを変えてほしい。施設の必要性は理解できるので、住民の思いを聞いて再検討してほしい。

A17：施設の必要性についてご理解いただきありがとうございます。入口の問題についてはご意見として検討したいと思います。

Q18：西側から入所することは出来ないのか？

A18：西側は従業員用出入口として現在も使っており、提案させていただいた案は西側が従業員、東側が入所者としています。ご意見を踏まえ、再度検討してみたいと思います。

Q19：再考いただけるのであればありがたい。そもそもホテル東側では、資材搬入の車両で道をふさぐことが多々ある。感染云々もそうだが、そもそもトラブルがあることも考慮してほしい。

A19：西側からのルートについてはこれまで検討していませんでしたが、西側ルートに変更できるならHOTEL KOYOを後方施設として整備することに同意をいただけるということでしょうか。
(異議なし)

急ぎ専門家にも確認しつつ、再検討しまして、結果をお知らせしたいと思います。西側ルートが可能ということであ

れば、紙による周知ということでもよろしいでしょうか。
(異議なし)

※後日、西側からのルートについて専門家にも相談し、可能である旨を確認できたため、西側ルートを採用することとなった。周辺住民の皆様にもご説明済み。

Q20：ゴミの袋詰めは入所者がやるとして、その袋をどのように扱うのか。

A20：ゴミを回収する際には感染性廃棄物専用の箱に入れ、それを密封し、消毒のうえ、専門業者に引き渡して処分いただくこととしています。集めた箱が屋外に出る時にはきれいなものとなっているので、周辺の皆様にもご安心いただけたらと思います。

Q21：今後、感染者が増えることも考えられるが、後方施設はここだけなのか。K O Y Oさんは他にも施設があったと思うが。

A21：このホテルは大変大きく、265室あります。ひとまず最初の後方施設として整えたいというものですが、先に申し上げたとおり、いくつかのホテルで同様の話を進めており、同じエリアではなく分散して開設できればと考えております。

Q22：入所の時間は決まっているのか。

A22：現時点では15時頃を想定しています。